

AMUSEMENT SQUARE stage

演劇空間スペースベン

打倒!「球田直下」!「劇回やませ」!

(他意はありません)

〈文〉創造集団パノラマ屋 お頭 安達良春 (プラスワンシアター主宰)

プラスワンシアターを始めて、もうすぐ2年になる。長いのか短いのか解らないが、もうすぐ2年。知名度はともかく、もうすぐ2年。始めた時に「これはイケル!」と一人はくそ笑みでから、もうすぐ2年。休むこともあるけれど、もうすぐ2年。

2年か。2年も過ぎればいろんな事が変わっていく。結婚した人もいる。まったく会わなくなっただ人もいる。新しく出会った人もいる。市長も変わったし、新幹線

は来るし、牛は足腰立たなくなるし、全日は大量離脱後も頑張っているし、世の中確実に動いているのだ。

でも、自分はどうだ? 良くも悪くも相変わらずだ。だが、年だけは確実にとっていく。このままズブズブと沈み込む様に年をと

死ぬまで足掻き続けてやる。

11月に「劇回やませ」の公演を観た。会場に入ってまずセツトに驚いた。玄関、ドア、階段(実際に劇中で人が昇り降りする)と「家」がステージの上に建てられていた。そういえば「我が内なるラビュータ」も凄かった。内容もどっしりとした創りで最後まで安心して観ることができたし、周りの観客の評判も上々。ただ、今回の公演は榎谷伸夫先生の脚本ではなく劇団員の意見で選んだ脚本という事で、何よりもどんな題材の脚本なのか楽しみたが、残念ながら自分はこの本で感動する事は出来なかった。しかし、いづれにせよ30周年を迎えた老舗の名に恥じない舞台だったのは間違いない。同じ舞台に関わる者として、

負けてたまるかという気にさせられた。

12月には「球田直下(きゅうでんちよつか)」の公演があった。といっても「球田直下」という劇団ではなく、大地球さん、田中稔さん、長谷川直行さん、下崎博之さんの4人のユニットによる、落語と芝居3本立てというちょっと変わったものだった。

た。自ら「中年爆裂団」と名乗り八戸の舞台界に風穴を開けようという目論んだ(?)この公演が実際に風穴を開けたのかどうかはまだ解らないが、自分にとっては印象に残るものだった。何よりも「中年爆裂団」と名乗り、いろんなモノに対して「どうなんだ?」と問おうとした心意気というか、潔さというか、熱意というか、それにあてられてしまった。こんなに元気でエネルギー溢るオヤジ達がいるなら、まだまだ世の中、捨てたもんじゃない。八戸を(ほんのちよつとだけ)支えるオヤジ予備軍として、負けてたまるかという気にさせられた。

【プラスワンシアター】
毎月第一金曜日19時30分よりスペースベンにて芝居を中心に公演中。役者がしたい、自分の脚本を演って欲しい、ただ単に手伝って欲しい等、芝居に限らず参加募集集中。観る人も大募集。

どんなものでも生まれた瞬間から古くなっていく。その中で生き残っていくには飽くなき探求心と熱意のみ。センスだって磨けば光る。ハズだ、そう信じよう。プラスワンシアターはまだまだこれから、ガンバリマス。毎月第一金曜日はスペースベンにいつもとちょっと変わった一時を楽しみにおいて下さいませ。

2月のFriday Amusement Negative Shop

■2月1日(417回)
安達良春プラスワンシアター
「喜びの機械」
作:しもさき博之
演出:プラスワンシアター
出演:安達良春他

■2月8日(418回)
未定

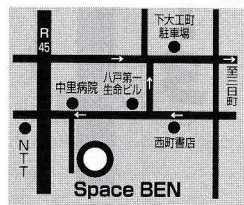
■2月15日(418回)
未定

■2月22日(419回)
未定

..... FANS番外篇

■2月24日
下沢友博アコースティックライブ

※全て午後7時30分～、料金500円
チケットはスペースベンにて販売



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。
(近くに西町書店駐車場有り)

問 スペースベン
八戸市柏崎1-11-8
☎FAX 43-9876

※スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

FANSでは、脚本を広く募集しています。何か表現したくても踏み出せないでいるあなた、一度「物語」を書いてみませんか? FANSでは、そんな方の思いを大切にして舞台にのせてみたいと思っています。

☎ スペースベンHPアドレス <http://spaceben.com/>
Eメールアドレス fans@spaceben.com